






事業実績書

事業名	『母たちのスキルアップ支援』とスキルの活用	
場所	主に沼津市内	
期間	2021年 4月 5日 ~ 2022年 3月 31日	
日程	実施項目・作業項目	
事業 内 容	<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p>	
	4/2	<p>【体】キッチンカーお仕事体験 (沼津市 株式会社イワサキ経営：親子1組) ・珈琲提供や接客の体験</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>*文中の略字 【ミーティング】→【ミ】 【スキルアップ】→【ス】 【創作活動】→【創】 【体験活動】→【体】 【心のままアート展】→【心】</p> <p>*括弧()内は場所と参加者数</p> </div>
	4/14	【ミ】第1回ミーティング (サンウェルぬまづOAルーム：6名)
	4/16, 4/17	<p>【ス】福祉事業所見学 (函南町 みらいへ函南柏谷：9名) ・新築障害者グループホームの見学とセミナー受講</p>  
	5/4	<p>【ス】キットパス講習 (三島 講師自宅：2名) 講師 森島真由氏</p>
	5/5	<p>【創】『きりえ』 (サンウェルぬまづ多目的ホール：親子10組) ※助成外事業 講師 川口大夢氏</p>  

5/26

【創】『染め物』(沼津市 アトリエかもめ：親子4組) ※助成外事業
講師 野呂美樹氏



5/12

【ミ】第2回ミーティング (サンウェルぬまづ OA ルーム：7名)

5/1~
6/30

【心】『心のままアート展 ぼくの色 in キヤノン』
(裾野市 キヤノン株式会社富士裾野リサーチパーク：7名)
*企業内撮影 NG のため画像なし
*アンケート集計あり (資料①参照)

5月
中旬

【心】書類作成とご案内
・「協賛のお願い」
・「作品提供のお願い」

6/9

【ミ】第3回ミーティング (サンウェルぬまづ OA ルーム：7名)

6/6,
6/13

【創】『ディンプルアート』(長泉町 ライラック：親子10組)
講師 久保田さなえ氏



【ス】親なき後セミナー (サンウェルぬまづ OA ルーム：8名)
講師 山本真吾氏 (富士市 司法書士事務所 LINK) 全3回

6/16

① 障害と相続の関係 ～遺言と成年後見～

6/23

② 『今話題の家族信託』

6/30

③ 『資産形成とお子様のためにできること』



7/5

【体】音楽でつながるコンサート (裾野市 生涯学習センター：200名)
*大雨被害により中止



7/14

【ミ】第4回ミーティング (サンウェルぬまづ OA ルーム：7名参加)

7/14~

【その他】企業の CSR 活動に参加 (沼津市 静鉄ストア大岡店：1名)
・「心のままアート」が工事仮囲いと店内に展示



7/1~
10/31

【ス】デザイン講習 (沼津市 zoom/千本プラザ/シェアオフィス：5名)
講師 渡邊純氏 (グラフィックデザイナー)
・zoom での講習 *コロナ感染症対策として
・作品の撮影



7/1~
8/31

【心】『心のままアート展ぼくの色 in 街角ギャラリー』
(沼津市 保険カンパニー：2名)



7/16

【ス】工場見学 (富士市 コアレックス信栄株式会社: 3名)



7/21~
9/26

【心】『心のままアート展 in café day』 (沼津市 café/day : 7名)

* アンケート集計あり (資料②参照)



7/28,
7/30

【創】『シルクスクリーン』 (沼津市 アトリエかもめ: 親子8組)



8月~

【ス】チラシ制作 (1名)

・9/30 に入稿



8月~
10月

【ス】動画制作講習 (沼津市 cafe/day : 4名)

講師 青木一氏

・13本の動画を制作(<https://kokoronomama.wixsite.com/iroin-art>)



9/10

【ミ】第5回ミーティング (サンウェルぬまづ OA ルーム : 8名)

10/13

【ミ】第6回ミーティング (サンウェルぬまづ OA ルーム : 10名)

10/18

【心】『心のままアート展 2021 展味覚動物園 in 沼津コート』

(沼津市 ららぽーと沼津 1F 沼津コート : 5名)

~
10/31



11/10

【ミ】第7回ミーティング (サンウェルぬまづ OA ルーム : 14名)

11/1~
3/31

【心】オンライン『心のままアート展 2021』

・ホームページにて公開 (<https://kokoronomama.wixsite.com/iroin-art>)

・特別支援学校・支援学級の児童・生徒、OB の作品 約 100 点を展示

・自治体広報誌への掲載

沼津市/三島市/伊豆の国市/伊豆市/清水町/長泉町/函南町

・後援承認

沼津市/沼津市教育委員会/沼津市社会福祉協議会

伊豆の国市/伊豆の国市教育委員会



11/7

【体】キッチンカーお仕事体験 (三島市 TMO ホール：親子4組)



・テーマ「障害を抱える子ども達の未来を考える」での講話 (2名)



12/4

【体】キッチンカーお仕事体験 (函南町 はぐくむ函南柏谷教室：親子3組)



12/8

【ミ】第8回ミーティング (サンウェルぬまづOAルーム：8名)

1/29

【ミ】第9回ミーティング (サンウェルぬまづOAルーム：7名)

1/12~
2/26

【心】『心のままアート展 2021 in アフラック沼津店』
(沼津市 イーラ de 沼津 3F アフラック沼津店：5名)



3/9

【ミ】第10回ミーティング (サンウェルぬまづOAルーム：6名)

※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。

【 障害理解 】

障害について関心を持っていただくイベントを通じて、ノーマライゼーションや誰もが暮らしやすい世の中への地域の方々の理解が深まる。

障害を抱える子ども達を地域の方々に知っていただくことを目的とした『心のままアート展』は、社会情勢に合わせたオンライン開催に加えて、企業や店舗等での展示を6か所で行いました。障害への関心をもっていただくきっかけは日常の中にあってほしいと考えています。地域の方々が勤めの職場や余暇を楽しむ場所での展示が行えたことで、関心をもっていただける機会を増やすことができましたと感じています。そうしたこともあってか、子ども達への応援の声や「自分たちができる事を考えている」といった声を数多くいただくことができました。

【 社会参画 】

障害を抱えていても、素晴らしい能力を発揮したり真面目に作業をするなど、十分に働き手としての力があることを知ってもらうことで、障害者が社会に参加する機会が増える。

お仕事体験では、地域の方々に子ども達が働く姿をご覧いただくことができました。それぞれが得意とする役割で力を発揮する様子から、働き手としての十分な能力があることを感じていただけたように思います。障害を抱えていても周囲の理解やサポートにより、積極的に社会参画ができることを知っていただける機会になったと考えています。

【 雇用創出 】

障害者の特性や能力を活かした作業が増え、将来の「しごと」につながる。

事業効果

企業や店舗等で実施した『心のままアート展』では、子ども達が通う特別支援学校の作業学習内容や製品紹介および当団体の子ども達の創作風景や得意なことの紹介のほか、将来の仕事につなげるための関係づくりやワークショップを行いました。こうした取り組みの成果もあり、心のままアートが商品に活用されたりCSR活動に活用されるなどの事例も増えてきました。また、経営者の方々に、障害者の働く環境やジョブコーチの役割についてお話をさせていただく機会がありました。障害者の就労について共に考えていただけたように思います。引き続き将来の仕事の創出に向けた取り組みを進めていきます。

【 コミュニティ構築 】

ノーマライゼーションの理解が進み、地域の中で多様な人々の「居場所」ができる。

コロナ禍で活動の制限はあったものの、展示会場やお仕事体験の場で子ども達を交えた地域の方々とのコミュニケーションを楽しむことができました。こうした取り組みを重ねることで、地域の中での居場所ができていくように思います。また、zoomを活用したミーティングでは、様々な活動をされている方とつながるなど、新たな仲間づくりや居場所づくりができました。また、民生委員の方々に障害を抱える子どもの現状やニーズについてお話をさせていただく機会がありました。地域との関係強化につながればと思います。

【 知識・スキルの向上 】

母親のスキルアップにより知識・支援の質が向上し、同じ悩みを抱える母達などへのアドバイスがより的確に行える。

各種知識の習得やスキルアップの成果を活かし、同じような悩みを持つ方からの相談に対するアドバイスなどを行っています。コロナ禍の影響で次年度に延期となりま

したが、「沼津市児童発達支援センターみゆき」に通う子どものママ達に向けて、先輩ママとしての講話や勉強会も行う予定でした。私達も身近な経験談を聞くことで気持ちが楽になったり、将来に向けての計画や準備ができました。引き続きスキルアップを重ね、気軽な相談先としてお役に立ちたいと思います。

成果指標

一般の方に障害理解を広めるために開催している『心のままアート展』や、他自主イベントの来場者数及びアンケート結果

1. 2017年からのイベント来場者数の増加比率

『心のままアート展』の来場者・協賛者数

【来場者】

2017年 約 700名

2018年 約 1,000名

2019年 約 1,100名

2020年 約 500名（オンライン） 5,700名（ららぽーと）

2021年 約 2,700名（オンライン） *他6ヶ所での来場者数は未集計

【協賛者】

2017年 協賛企業 15社・個人協賛 12名

2018年 協賛企業 50社・個人協賛 32名

2019年 協賛企業 82社・個人協賛 53名

2020年 協賛企業 50社・個人協賛 10名

2021年 協賛企業 54社・個人協賛 10名

2. 『心のままアート展』アンケート結果（資料①②参照）

上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。

自己評価

障害を抱える子ども達の将来の仕事と居場所づくりを目的とした団体を 2017年に立ち上げてからこれまで、我が子達が地域の中で自立した生活（それぞれの自立度で）を送れるようにと願い、コミュニティを構築しながら事業を進めてきました。2018年よりお世話になっているまちづくりファンドでは、市の担当の方々やアドバイザーの皆様方よりいただいた貴重なご意見を踏まえた振り返りを重ねるなど、目的の達成に向けた自分達の現在地点を都度確認しながら事業を進めてきました。おかげさまで、多くの方々からの応援や理解をいただくことができましたし、子ども達を取り巻く環境が良くなってきているようにも感じています。まちづくりファンド事業での経験により、周囲の皆様にご信頼いただける団体へと、わずかながらも成長できたように思います。心より感謝しております。

今後の活動予定	<p>ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>2022年度のまちづくりファンド事業は、母子のコミュニティとしての位置づけが強い「障害者のしごとを考える母の会」から、障害を抱える子ども達の将来の働く場所としての「カフェと工房ぼくの色」にまちづくりファンドの事業主体を移し、地域の方々の「生活に直接的に役立つ将来の仕事」として、折り畳み式ゴミかごの事業化に取り組みます。地域に必要とされ、地域の役に立つ、個々の特性・能力に合った新たな仕事を母達が見出して形にし、子ども達の社会的自立を裏方として支えていきたいと思ひます。</p>
---------	--